

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	増田 優介	学校名	神戸市立夢野の丘小学校
実施学年	4年	教科	特別活動
单元名	メディアバランスを考えよう		

《学びを深めたいポイント》

本单元では、デジタルシティズンシップ教育を行うために、従来の約束やルールを決めて、徹底させるのではなく、自分自身でメディアの活用についての善悪の判断ができるように問いかけながら指導を行った。児童それぞれがメディアの使用について自身の普段の生活を振り返り、それをもとに今後の自分自身の生活を見つめ直し改善していく態度を養っていった。

また、自分の考えを友達と交流する中で、自分と異なる意見を認めながら自分に活かせるところは取り入れ、修正改善を促した。決まった答えがない学習課題であるため、友達の考えを否定することなく話し合いが深まるような交流の時間を持ち、自分の考えを形成していった。それぞれが考えたメディアバランスは無理なく継続して行えるものになっているか問いかけながら、日常に活かせるものを考えさせた。

1時間の授業で終わるだけでなく、授業後1週間のメディアの使い方について各自が記録し、1週間後に振り返る時間を持ち、自分で考えたメディアバランスで過ごすことができたのかを確認した。

《SKYMENU 活用のポイント》

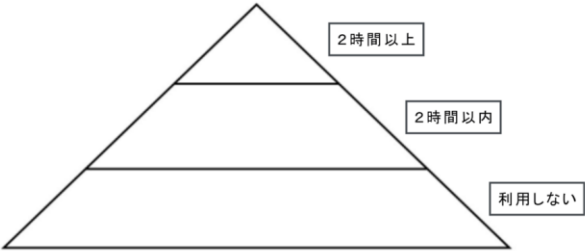
本題材では、情報活用能力育成のため、以下の場面で SKYMENU を活用した。

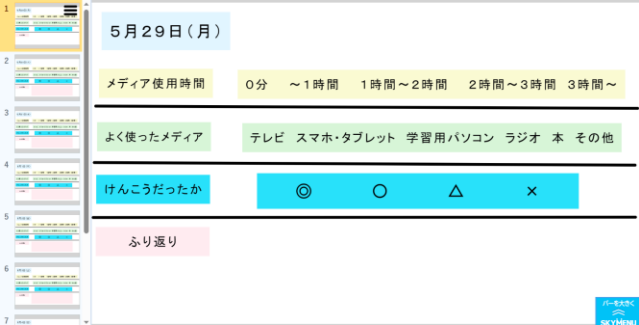
【整理・分析】SKYMENU 発表ノートを使用し、自分の考えを表にまとめる。

【まとめ・表現】発表ノートでまとめた意見をもとに、自分の考えを友達と伝え合う。

【振り返り・改善】発表ノートで作成した振り返りカードを使って1週間の記録を行い、振り返る。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	1. 普段、家庭でどのようなことに、どれだけの時間、メディアを利用しているのかについて振り返る。 ・「メディア」について理解する。 情報を受け取る方法のこと。 デジタルメディアだけでなく本や音声もメディアに含まれる。 ・「ピラミッドチャート」を使い、普段のメディア利用状況を整理する。 テレビを観る 動画を観る 宿題をする 学級活動(係の仕事)をする SNS を利用する インターネットで調べもの 本を読む 新聞を読む 英会話の練習をする ラジオを聴く	・発表ノート内の思考ツールを活用し、ワークシートを作成する。 メディアバランスを考えよう 4年()組 名前【 】 ★自分のメディアの使用を振り返りましょう。(番号をピラミッドに書きましょう。)  ①テレビを見る ②動画をみる ③PCを使って宿題をする ④PCを使って係活動をする ⑤SNS(電話やチャット)を利用する ⑥インターネットを使って調べものをする ⑦本を読む ⑧新聞を読む ⑨音声を聞いて、英会話の練習をする ⑩ラジオを聴く 	・あえてワークシートにすることによって、次の活動で、プリントを見ながら発表ノートを編集することができるようにした。
展開	2. メディアバランスを計画する。 ・動画教材を視聴する。 ・「メディアバランス」について理解する。 健康な生活を送るために、メディアの利用と、睡眠や食事、趣味、家族の時間などを、バランスよく両立させること ・おうちの人から言われそうな内容を出し合う。 ○時間を決めて利用しなさい。 ○自分の部屋でやらずにリビングで使いなさい。 ○ネットで遊んでばかりではなく、勉強しなさい。		

	・メディアバランスを考えるうえで必要な知識を得る。 ○どのメディアを、いつ、どのくらい使うかを考える。 ○健康に生活する上で、メディアをバランスよく使うことが大切。 ○メディアバランスは人によって違う。 ○メディアを使わない選択もある。 ・自分に合ったメディアバランスを考える。 SKYMENU 発表ノートを使い、自分に合ったメディアバランスを考える。 ①平日 ②休日 それぞれのメディアバランスを考える。 3. 考えたメディアバランスをもとに、友達と交流する。 【交流の視点】 なぜそのメディアを使うのか。 自分の心や体が健康でいられるか。 無理なく継続してできるものか。	・発表ノートを使って、自分に合ったメディアバランスを考える。 	・資料置き場を使うことで、文字入力時間を削減した。 ・色分けすることで視覚的な支援もできた。
まとめ	4. まとめ ・Forms を使用し、感想を記入する。 ・今後1週間のメディアの使用状況の振り返る方法を知る。		・1週間毎日メディアの使用状況を記録、振り返らせ、メディアバランスをより意識させた。

《実践を振り返って》

デジタルシティズンシップ教育を行う上で、ルールを決めるのではなく、子供たち一人ひとりが違う考えをもったまま授業を進めたので、友達との交流で「自分と違う考えをもっている」と比較する活動ができた。しかし、友達の考えと自分の考えを比較した上で、友達の考えを取り入れる、アドバイスをする、改善するといったことをしている児童はごく少数だったので、今後の授業でそういった部分も改善していきたい。

普段の生活を聞いていると、長時間にわたり夜遅くまで動画を観たり、テレビを観たり、SNS を使ったりする児童が多い中で、今回のように「メディア」に焦点をあて、自分自身の生活を振り返るような活動はこれからどの学年、校種においても必要不可欠なものになると考える。発達段階、成長段階に応じ、自分自身の生活を振り返り、より良くするために改善していくことで、メディアとの上手な使い方を学んでいけると考える。

発表ノートは、授業だけではなく、毎日の記録・振り返りにも活用できていると感じている。今回のように複数の発表ノートを使いながら、1時間の授業だけで終わらず、継続して課題を意識できるような授業を今後も展開していきたい。